

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2023.11 vol.211

職場紹介

【東6階病棟】

東6階病棟は、糖尿病・内分泌科、腎臓内科、不整脈治療科、循環器内科を中心とした、内科系の混合病棟です。入院される方は慢性的な経過をたどる方が多く、セルフケアが重要となります。そのため入院中は生活の援助だけでなく、セルフケア向上への教育や社会資源の調整に多職種で取り組み、退院後も安心して生活できるサポートを行っています。

【糖尿病・内分泌科】

長年糖尿病を患い、血糖コントロール治療・教育目的をはじめ、耳鼻科、皮膚腫瘍科、心臓血管外科などの手術前の血糖コントロール目的入院の患者さまを受け入れています。診療科カンファレンスでは、主治医、薬剤師、管理栄養士、外来看護師(糖尿病看護認定看護師)、受け持ち看護師が専門的な意見を出し合い、患者さまの疾患との向き合い方、家族背景から支援方法を見出しています。患者さまへの教育には、多職種連携を図り、糖尿病教室とカードシステムの活用を取り入れ、患者さまが学ぶ環境作りを心掛けています。

【腎臓内科】

腎不全治療では、腹膜透析導入から自宅での自己管理を目標に、受け持ち看護師を中心に、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、外来看護師、退院調整看護師と患者さまサポートを図っています。退院前は、退院前カンファレンスの開催、自宅訪問を実施し、患者さまが手技を獲得後も安心して自宅で過ごせるような支援を行っています。

【不整脈治療科】

10～90歳代と年齢の幅が広い診療科です。アブレーション治療、ペースメーカー手術治療の患者さまが多くを占めています。予定入院では、メディカルサポートセンター(MSC)での入院前支援を行い、患者さまの安心に繋がるよう取り組んでいます。

【循環器内科】

循環器疾患の中でも心不全、誤嚥性肺炎を中心に入院を受け入れています。循環器で入院される方は、半数以上が80歳以上の方で、高齢者看護、認知症看護に取り組んでいます。また、再入院を繰り返す方もおられ、摂食・嚥下障害看護認定看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士や言語聴覚士と連携し、適切な食事形態や食事環境の調整や、服薬管理や塩分制限・オーバーワークの予防など生活改善に向けたサポートを行っています。

(文責：東6病棟看護師長 加藤 崇志)



▲糖尿病教育で使用するカードシステム



▲アブレーション後の生活指導



▲腹膜透析導入の方にお渡ししている、スターターキット

診療科紹介

— 糖尿病・内分泌内科 —

鹿児島医療センター糖尿病・内分泌内科は、日本糖尿病学会、日本内分泌学会並びに日本甲状腺学会より専門施設として認定を受けており、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科糖尿病・内分泌科内科学分野の西尾善彦教授のもとより3名の医師を派遣していただき、医師4名体制で診療を行っています。

2023年9月より、初診の御紹介をいただく際、予約センターへの御連絡当日に、診療枠での予約取得が可能となりました。予約日までに診療情報提供書のFAXをお送り頂ければ良いため、以前に比べて簡便かつ迅速にご紹介頂けるものと考えています。

【糖尿病外来診療】

- ・ 受診当日の栄養相談が可能です。
- ・ 血糖、ヘモグロビンA1c、グリコアルブミン、インスリン、Cペプチド、尿中微量アルブミンなどの重要検査結果を当日迅速にお伝えできます。

- ・ 必要に応じて、FreeStyle リブレによる簡潔スキャン式持続血糖測定 (isCGM) や DexcomG6 によるリアルタイム持続血糖測定 (rtCGM) が可能です。



isCGM



rtCGM

- ・ 携帯型ポンプを用いる持続皮下インスリン注入療法 (CSII) やCSIIとrtCGMを組み合わせさせたSAP (sensor augmented pump therapy) が可能です。

- ・ 腎症(腎臓内科にて透析導入まで可能)、網膜症(眼科にてレーザー光凝固術まで可能)及び非アルコール性脂肪肝疾患 / 非アルコール性脂肪肝炎 (肝臓内科にて診療) に対する院内連携診療体制が充実しています。

- ・ 糖尿病を持つ方の日常生活での主体的自己管理行動を支えるために、糖尿病看護認定看護師による療養支援を実施しています。

- ・ 毎週月曜日の13:00～16:00に、糖尿病足病変予防のためのフットケア外来を完全予約制で実施しており、希望者にはインソール作成機会の提供も行っています。糖尿病を持つ方であれば、フットケア外来だけの受診も歓迎致しますので、遠慮なくご相談、ご紹介下さい。



【糖尿病入院診療】

・2週間の糖尿病教育入院の機会を提供しています。多職種(看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師)による集団指導以外に79種類のカードを駆使して指導項目を組み合わせ、糖尿病を持つ方々にとって最も適した指導プランを作成することが可能な、糖尿病療養指導カードシステムを導入しています。



【内分泌疾患外来・入院診療】

・下垂体疾患，甲状腺・副甲状腺疾患，副腎疾患の精査・加療の他、二次性高血圧の鑑別や電解質異常等の診療に対応しています。

・TSHレセプター抗体の測定が院内で可能となり、初診当日にバセドウ病の鑑別診断が可能となりました。

- ・原発性アルドステロン症の診断のため、外来でカプトリル負荷試験を行っています。
- ・入院下では、各種内分泌負荷試験を駆使して診断・治療を行っています。
- ・hCG、FSHや成長ホルモンなどの自己注射による補充療法、管理を行っています。

今後も、当科の専門性を活かしつつ地域における役割を果たし、先生方のニーズにお応え出来るよう努めて参る所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。

(文責：糖尿病・内分泌内科 郡山 暢之)

新任紹介



耳鼻咽喉科

松崎 尚寛

2023年10月より耳鼻咽喉科に赴任いたしました。初期研修を鹿児島医療センターでさせていただき、入局2年目にもレジデントで1年間勤務させていただきました。

今回が数年ぶりの鹿児島医療センターでの勤務となりますが、医療センターに少しでも恩返しができるよう頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。



外科

平川 雄太

2023年10月より外科に赴任しました。

外科入局2年目であり、また鹿児島医療センターでは初めての勤務となるため、皆様にはご迷惑をかけることが多々あるかもしれません。多くのことを経験し、成長できるよう頑張りますので、何とぞよろしくお願いいたします。



麻酔科

海江田 裕司

10月より鹿児島大学病院から当院麻酔科に赴任しました、海江田と申します。県外での初期研修後鹿児島大学病院に入局し、今回鹿児島医療センターの勤務は初めてになります。不慣れな部分も多くあり、先生方、スタッフにはご迷惑おかけすることも多いとは思いますが、多くのことを経験し成長できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター（心臓病・脳卒中・がん専門施設）

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

メディカルサポートセンター

地域連携室専用 FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

